電子による入札の場合は、入札書に工事費内訳書ファイルを添付し同時送付すること。紙による入札を行う場合には、押印及び記名を行った工事費内訳書を提出するとともに、電子データを併せて提出すること。なお、当該工事費内訳書及びデータの記録媒体は、表封筒と入札書を入れた中封筒の間に入れて、表封筒及び中封筒に各々封緘をして提出すること。

② 工事費内訳書は、発注者名、商号又は名称、住所及び工事名を記載し、入札価格に対応した工事区分、各工種、種別及び細別に相当する項目に対応するものの単位、員数、単価及び金額を表示したものとする。なお、少なくとも数量総括表に掲げる項目は全て記載すること。

入札の際に工事費内訳書が未提出又は提出された工事費内訳書が未記入である等不備がある場合は、当該工事費内訳書の提出業者の入札を無効とすることがある。

また、提出された工事費内訳書を必要に応じ公正取引委員会に提出する場合がある。

注）電子入札システムにより工事費内訳書を提出する場合には押印は不要である。なお、紙入札方式による場合は、押印すること。

⑳ 低入札価格調査制度調査対象工事の場合には、不当廉売の疑いがあるものとして公正取引委員会に報告することがある。

㉑ 本案件は、資料提出及び入札等を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細は入札説明書による。

㉒ 詳細は入札説明書による。

6 Summary

(1) Official in charge of disbursement of the procuring entity : Shigenobu Kawasaki Director-General of Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

(2) Classification of the services to be procured : 41

(3) Subject matter of the contract : Construction work of Misumimasuda-Rord Tsuchida tunnel

(4) Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 5 : 00 P.M. 11 October 2017

(5) Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system 1 : 30 P.M. 27 December 2017 (tenders brung with 1 : 30 P.M. 27 December 2017 or submitted by mail 1 : 30 P.M. 27 December 2017)

(6) Contact point for tender documentation : Contract Division, General Affairs Department, Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, 6―30, Kami-hacchobori, Nakaku, Hiroshima 730―8530 TEL 082―221―9231 Extension 2526

入札公示

公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公示（建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を含む））

次のとおり技術提案書の提出を招請します。

平成29年9月19日

支出負担行為担当官

中国地方整備局長　川﨑　茂信

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　34

1　工事概要

(1) 品目分類番号　41、42

(2) 工事名

・国道２号大樋橋西高架橋工事

・国道２号大樋橋西高架橋工事にかかる技術協力業務

(3) 工事場所　岡山県岡山市南区古新田から大福地内

(4) 工事内容

１）設計（以下「技術協力業務」という）

(a) 設計内容　橋梁技術協力　１式

(b) 予定工期　契約締結の翌日から交渉成立予定日（平成30年11月30日）までを予定している。

(c) 本技術協力業務について、主たる部分の再委託は認めない。

２）施工（以下「建設工事」という）

(a) 工事内容

【大樋橋西高架橋】

道路改良　１式

橋梁下部工　１式

鋼橋上部工　１式

仮設工　１式

(b) 予定工期　契約締結の翌日から平成35年３月31日までを予定している。

(5) 本工事は、公共工事の品質確保の促進に関する法律第18条に規定する「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」（以下、「技術提案・交渉方式」という。）の技術協力・施工タイプの対象工事であり、優先交渉権者として選定された者と技術協力業務の契約を締結した後、発注者と優先交渉権者との間で締結される基本協定に基づき価格等の交渉を実施する。交渉が成立した場合は、別途発注する建設工事の随意契約相手方として特定する。

なお、別途発注する建設工事に係る契約締結は、必要な予算が確保された場合とする。

(6) 本工事は、国土交通省が提唱するｉ―Constructionに基づき、ＩＣＴ技術の全面的活用を図るため、ＣＩＭ（Construction Information Modeling／Management）を導入し、関係者間協議や情報共有、施工計画の検討、安全教育、出来形管理等の施工管理のいずれかについてＣＩＭモデルを活用するＣＩＭ活用工事である。なお、ＣＩＭモデルとは、対象とする構造物等の形状を３次元で表現した「３次元モデル」と「属性情報」を組み合わせたものを指す。

本工事における鋼橋上部工、橋梁下部工では、施工において①に示す活用項目にＣＩＭモデルを活用し、活用したＣＩＭモデルを納品するものとし、詳細については特記仕様書によるものとする。

① ＣＩＭの活用項目　以下のａ）からｄ）の項目のうち、いずれか一つ以上の項目にＣＩＭモデルを活用

ａ）関係者間協議や情報共有

ｂ）施工計画の検討

ｃ）安全性に関わる検討

ｄ）出来形管理等の施工管理

また本工事は、ＣＩＭモデルの活用拡大を検討する発注者指定型工事である。本工事では、上記の活用項目に加え、以下の内容について検討する。

・ＣＩＭモデルを用いた工事における自動的な数量、工事費、工期の算出

・ＣＩＭモデルを用いた出来形管理、監督検査の効率化

(7) 本工事は、週休２日制の試行対象工事（受注者希望型）である。週休２日制を行う希望がある場合は、建設工事の契約締結後、施工計画書の提出までに発注者と協議するものとする。

(8) 本工事は、競争参加資格確認申請を行った者のうち、一次審査で選抜された者に対して技術提案書の提出要請を行い、技術提案書の提出を行った者と技術提案書の内容に係るヒアリングを実施し、技術評価点が最も高い者を優先交渉権者として選定する。

なお、優先交渉権者と価格交渉が成立しなかった場合は、次順位の者と同様の手続きを行い、以降交渉が成立するまで次順位以降の者と同様の手続きを行う。

(9) 参考額　本建設工事に先立って実施する技術協力業務の規模は１千万円程度（税込み）を想定している。また、本建設工事の規模は10億円～20億円程度（税込み）を想定している。

⑽ 本工事は、競争参加資格があると認められた者のうち、一次審査の審査評価点の合計が上位の者を選抜し、技術提案書の提出要請を行う段階選抜方式の試行工事である。

⑾ 本工事は、説明書等を電子入札システムからダウンロードする適用工事である。なお、電子入札システムにより難い者は、発注者の承諾を得て紙方式に変えることができる。

⑿ 本工事は、資料提出を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムにより難い者は、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

⒀ 本工事は、総価契約単価合意方式の対象工事である。本工事では、受発注者間の双務性の向上とともに、契約変更等における協議の円滑化を図るため、別途発注する建設工事の契約締結後受発注者間の協議により総価契約の内訳として単価等を合意することとする。

⒁ 本工事は、技術資料作成に必要と思われる当該工事の関連データを希望者にインターネットで提供、または、電子記録媒体による提供を行う工事である。